



スポーツ振興基金

独立行政法人日本スポーツ振興センター

2014/2015 全日本スケルトン選手権大会

[大会要項]

1. 主催 一般社団法人日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟 (JBLSF)
2. 主管 長野県ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟 (NBLSF)
3. 後援 (公財)日本体育協会 (公財)日本オリンピック委員会
長野県 長野市 長野市教育委員会
4. 開催期間 平成 26 年 12 月 26 日(金)～28 日(日)
5. 会場 スパイラル (SPIRAL™) 長野市ボブスレー・リュージュパーク
長野市中曾根 3700 番地 TEL 026-239-3077
チームキャプテンズミーティング会場は、管理棟 3 階
6. 競技種目 スケルトン男子、スケルトン女子
7. 日程 (悪天候等により日程変更する場合がある。)
平成 26 年 12 月
26 日 (金)
16:30～ チームキャプテンズミーティング、公式練習ドロー
27 日 (土)
10:00～11:05 公式練習 1 本目 男子・女子
11:35～12:40 公式練習 2 本目 男子・女子
14:00～ チームキャプテンズミーティング、競技会ドロー
28 日 (日)
10:00～10:40 競技 1 本目 男子
10:40～11:05 競技 1 本目 女子
11:35～12:15 競技 2 本目 男子
12:30～12:55 競技 2 本目 女子
※男女それぞれに順位が確定次第、ウエインハウスにおいて表彰式

8. 参加費

1人 2,500円

9. 申込み方法

- ・各連盟は、本要項に従って責任をもって選手選考を行い、別添の申込書により12月2日(火)PM3:00までに参加料を添えて申込むこと。(選手からの直接の参加申込は受付けない。また、上記期日までの申込みにおける参加料の支払いも上記期限厳守とし、期限以降の参加料振込は、締切日以降の参加申込みとみなし、参加料は2倍の金額とするので注意すること。)

また、JADA(公益財団法人日本アンチドーピング機構)のE-ラーニングプログラム「Real Winner」の修了証のコピーを参加申込書に必ず添付すること。(「11ドーピング検査」を参照のこと)

※参加申し込み先：長野県ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟事務局
〒380-8524 長野市県町524番地 ー北野建設(株)内ー
TEL：(026)252-7670 FAX：(026)252-7671
E-Mail：bobluga@valley.ne.jp

【お振込先】

八十二銀行 本店営業部 普通 No. 1177198
口座名義人 一般社団法人 日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟
会長 北野 貴裕
(イッパシヤダンホウジン ニホンボブスレー・リュージュ・スケルトンレンメイ カイチョウ キタノ タカヒロ)

- ・上記申込み期限までの申し込み内容で、大会パンフレットの選手紹介を記載するので、所属先等間違いの無いよう留意すること。
- ・上記申込み期限以降、エントリーの追加は認めない。ただし、最初のチームキャプテンズミーティングにおけるエントリー確認までは、参加費の2倍の額を納入することにより、エントリーの追加を認めるものとする。(この変更によりエントリーした選手は、大会パンフレットには記載されない場合があるので、承知願いたい。)
- ・上記申込み期限以降、選手の都合によるエントリーの取り消しにおける参加費の返還はしないので、不参加選手の参加費については各連盟で責任をもって支払うこと。また、参加費が未納の状態で大大会参加をキャンセルした場合でも、参加費は納付しなければいけない。) ただし、チャレンジカップの結果により参加資格が取得できなかった者に対しては、納付された参加費を全額返還する。

10. 保険加入の義務

- ・傷害保険の加入を義務付ける。各自(個人または団体)で保険に加入しておくこと。
- ・参加申込時に傷害保険契約書等のコピーを添付すること。
- ・加入した保険加入証明書は、大会時には持参すること。
- ・大会実施時間中、会場には競技医が常駐し、競技中のけがについて診断・応急処置を行うが、以降は医師の診断に従い、各自の責任において処置すること。

11. ドーピング検査

- 当大会は、日本ドーピング防止規程に基づくドーピング検査対象大会である。
当大会出場選手は、大会にエントリーした時点で日本ドーピング防止規程にしたがい、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなす。
- また、未成年者である当大会出場選手のエントリーにおいては、上記のドーピング検査の実施について親権者から同意を得たものとみなす。
- 当大会参加選手は、当大会において行われるドーピング検査を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、ドーピング防止規則違反となる可能性がある。ドーピング防止規則違反と判断された場合には、日本ドーピング防止規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
- 日本ドーピング防止規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構(JADA) ウェブサイト (URL : <http://www.playtruejapan.org/>) にて確認すること。
- この大会は、TUE (治療目的使用に係る除外措置) 事前申請が必要な大会である。
URL : http://www.playtruejapan.org/tue_list.php (JADA ウェブサイト内)
- **JADA (公益財団法人日本アンチドーピング機構) のドーピング防止について学習するための E-ラーニングプログラム「Real Winner」を必ず受講し、修了証のコピーを参加申込書に添付すること。** (「Real Winner」は、世界ドーピング防止規程 (WADA Code) に沿って作成された9つのケースについて学習することができ、全て終了すると、修了証が授与され、登録されたメールアドレスに送付される。このプログラムを実施するには、添付資料を参照のうえ、JADAのホームページ (<http://www.playtruejapan.org/>の右側にあるバナー「やってみよう!! E-ラーニング Real winner」からアクセスすること。)
<http://jada.realwinner.org/LoginPage.aspx>



実施要項

1 種目別スタート位置

男子	ボブスレースタート	1360m
女子	ボブスレースタート	1360m

2 参加資格

各連盟は、選手選考にあたり、本大会における以下の参加資格を満たす選手を、責任を持って選考し申し込むこと。(選手からの申込は受けない。)

- ・日本連盟から選手証が発行されている者。(選手証のない選手を出場させたい場合は、参加申込み期限までに必ず大会主催者(事務局)に許可を求めること。参加の可否については後日事務局より通知する。)
- ・JOC指定コーチの指導を受け、その指導者より各競技における上記スタート位置からのスタートを許可されている者(申込書にJOC指定コーチの署名捺印が必要。)
- ・今シーズン前期の国際大会参加選手又はチャレンジカップで本大会の参加資格を取得した者。

なお、これらの選手が下記の数値に達していない場合には、各連盟で各種目2人まで、チャレンジカップ未参加の選手の参加が認められる。

男子、女子 各20人

(上記参加枠を利用した本大会への参加申し込みについては、チャレンジカップの結果により参加不可能となった選手の参加費は全額返還する。)

- ・未成年者の出場は、保護者の承諾書を添付すること。

上記の条件を満たし、参加申し込みを受理された選手には、2本の公式練習滑走が与えられるが、そのうち少なくとも1回、転倒なく完走した者のみが競技会参加資格を与えられる。

3 表彰

1位から3位までメダル、1位から6位まで賞状(全種目ごと)

4 計時システム

- ・既設のNTTDaTa タイミングシステム。 1/100秒まで計測

5 滑走順について

- ・公式練習は各連盟、競技日は選手ごとの滑走順をドローにより決定する。
- ・大会の運営に支障がない限り、2本目の滑走順は国際競技規則に従うものとする。
- ・チャレンジカップで本大会の参加資格を取得した選手及び今シーズン前期の国際大会派遣選手は、チャレンジカップに未参加の選手より1本目の競技滑走順に優先権があるものとする。

6 競技運営上の注意

- ・種目が変更となる時は最低1分間のインターバルをとる。
- ・そりの置き場は、チームキャプテンズミーティング時にジュリーから指示がある。
- ・スタートリスト・リザルト・ミーティング議事録・各種インフォメーションは、各連盟のメールボックスに入れておく。
- ・そりの輸送開始時刻、トラック内ウォーク許可時間、2本目滑走開始予定時刻は、最初のチームキャプテンズミーティングで通知する。
- ・コース整備は、1本目と2本目の間にのみ行う。
- ・最低限のルール及びマナーとして、別途配布済の「ボブスレー・スケルトン ベーシックガイド (2014年版)」を遵守すること。
- ・コース内を歩く時は、必ず靴の泥など汚れを落とすこと。
- ・遮光幕のオープンは当日の朝、場内アナウンスで発表する。
- ・試滑走スケルトンは、国際競技規則に沿った実施を前提としているが、大会の特質上、試滑走そりの数が不十分になる場合が予測される。この場合、当日の最後の滑走種目のスタート順の最後の順から、選手を試滑走そりとする可能性がある。この場合、選手は試滑走後、競技のスタート順に従って滑走することとする。

7 その他

- ・最初のチームキャプテンズミーティング時に選手証の提出を求めるので、ミーティングに参加する各連盟代表者は、忘れずに持参し、レースディレクターに提出すること。
- ・個人装備品・用具については、国際競技規則に準ずるが、ヘルメットは、現状を考慮して、本大会では以下の条件を全て満たしているものは使用可とする。
 - ① あごあて付のフルフェイスのヘルメットで、頭部と耳を外側からカバーしてふさいでいること。
 - ② スポイラー付きあるいは突出している縁がなく、公的な安全基準に適合しているヘルメットであること。(貼付されているSGマークが有効期間内であること。)
 - ③ 付加的な空気力学的要素あるいは粘着テープ(バイザー及びゴーグルのストラップを固定するためのものを除く)がないこと。
 - ④ バイザーは、割れたり砕けたりしないこと。
- ・そり運搬時トラックへの上げ下ろしは、選手が責任を持って行うこと。
- ・主催者は、そりのレンタルは原則として行わない。

大会事務局：長野県ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟

〒380-8524 長野県長野市県町5-2-4番地 一北野建設(株)内

TEL 026-252-7670 FAX026-252-7671

E-mail bobluge@valley.ne.jp